

全国商業高等学校長協会創立70周年記念

主催 全国商業高等学校長協会・公益財団法人全国商業高等学校協会

後援 文部科学省・日本公認会計士協会・日本税理士会連合会

第34回 (平成30年度) 全国高等学校簿記コンクール問題 (第1部)

注 意 事 項

- (1) 答案は、すべて答案用紙に記入すること。なお、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている記帳の方法によって、正確・迅速・整然と記帳すること。
- (2) 机上には、競技番号札・ボールペン（黒・赤）・電卓・そろばん・定規・タイマー以外おかないこと。
なお、物品の貸借はしないこと。
- (3) 赤記すべきところは、赤のボールペンを使用すること。
- (4) 答案作成にあたっては、鉛筆および消しゴムで消せるボールペンの使用は認めない。
- (5) 記帳したものを訂正する場合は、教科書に基づき日頃学校で指導を受けている方法によって訂正すること。
なお、訂正印は省略する。

1 (30点)

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現金	当座預金	受取手形	売掛金	売買目的有価証券
未収金	仮払金	仮払消費税	建物	建物減価償却累計額
備品	備品減価償却累計額	土地	のれん	投資有価証券
関係会社株式	支払手形	買掛金	借入金	未払金
前受金	仮受金	仮受消費税	債務保証損失引当金	社債
その他資本剰余金	その他利益剰余金	自己株式	売上	受取手数料
受取利息	有価証券利息	有価証券売却益	固定資産売却益	関係会社株式評価益
仕入	交通費	通信費	減価償却費	消耗品費
保証債務費用	有価証券売却損	雑損	固定資産売却損	債務保証損失引当金繰入
関係会社株式評価損	保証債務見返	保証債務	土佐支店	南国支店
現金過不足				

- (1) 決算にさいし、現金過不足勘定の残高について次の原因が判明したので、適正に処理した。なお、原因不明分 ¥1,500については雑損とした。

簡易書留料金	¥1,860	バス回数券代	¥36,000	帳簿・ノート代	¥9,000
鉛筆・万年筆代	¥5,000	手数料の受取分	¥10,000		

- (2) 滋賀商事株式会社は、次の資産・負債（帳簿価額は時価に等しい）の株式会社南西商会を取得し、取得の対価は小切手を振り出して支払った。ただし、株式会社南西商会の株式市場での株価を1株につき ¥69,000 発行済株式総数を150株として計算した金額を取得の対価として決定した。

受取手形	¥1,400,000	売掛金	¥5,200,000	土地	¥14,500,000
支払手形	¥3,000,000	買掛金	¥4,340,000	借入金	¥3,960,000

- (3) 本店集中計算制度を採用している高知商店の本店は、南国支店の開設にあたり、商品 ¥500,000（原価）を発送した。また、土佐支店から現金 ¥400,000と商品 ¥300,000（原価）を発送し、南国支店はすべて受け取った。（本店の仕訳）

- (4) 沖縄商事株式会社は、平成29年12月12日に売買目的で保有している鹿児島物産株式会社の社債額面 ¥43,800,000のうち ¥17,520,000を額面 ¥100につき ¥96.20で売却し、代金は利払日の翌日から売却日までの端数利息を含めた ¥16,959,360が当座預金口座に入金された。ただし、この額面 ¥43,800,000の社債は、平成29年6月11日に額面 ¥100につき ¥96.00で買い入れたものであり、同時に買入手数料 ¥131,400および端数利息 ¥259,200を支払っており、利率は年3% 利払日は9月末と3月末である。

- (5) 大分書店は、季刊誌について、本日創刊の春号70冊を販売した。この季刊誌は、春号・夏号・秋号・冬号の年4回発行しており、各号ともにすべて同額である。また、年4回を1セットとした予約販売も受けており、本日販売した70冊のうち60冊が予約販売の引き換えである。なお、販売前に60セットの年間定期購読料 ¥648,000を受け取っており、残りの10冊については、当日販売として定価で販売し、代金を現金で受け取った。ただし、年間定期購読料は定価の1割引きで設定している。

- (6) 宮崎商事株式会社は、保有する自己株式300株（1株の帳簿価額 ¥50,000）のうち100株を ¥45,000で処分し、受け取った代金は当座預金とした。また、残りの自己株式についてはすべて消却した。

(7) 北東商事株式会社の借入金 ¥1,200,000について債務の保証をしていたが、同社の経営状態が悪化し、当社が債務の返済をする可能性が高くなったので、決算にあたり、借入金の62.5%の債務保証損失引当金を設定した。なお、この債務の保証をしたさいに、対照勘定による備忘記録をしている。

(8) 茨城商事株式会社は、第8期の期首に次の条件で発行した社債のうち半分を、発行後4年目の初頭に額面 ¥100につき ¥99.20で買入償還し、小切手を振り出して支払っていたが、残りの社債について、本日満期日を迎え、当店の当座預金口座から支払った。なお、買入償還したさいの帳簿価額と支払額との差額は ¥11,240であった。

発行条件

払込金額 額面 ¥100につき ¥98.20 償還期限 5年 利率 年2.5%

(9) 山梨産業株式会社は、次の保有する投資有価証券について、表示科目の変更をおこなうとともに評価替えをおこなった。当社はA社の議決権の12%を保有し、B社もA社の議決権の3%を保有している。また、当社の役員がA社の役員に就任しており、A社の経営方針に対して重要な影響を与えていると判断される。なお、当社はB社の議決権の55%を保有している。

銘 柄	帳簿価額	期末時価	市場価格
A社株式	¥2,442,000	——	市場価格なし
B社株式	¥1,106,400	¥535,200	市場価格あり

※B社株式は時価が著しく下落し、回復の見込みがない。

(10) 千葉工業株式会社（決算年1回 3月31日）は、建物（耐用年数25年、定額法）及びその敷地（帳簿価額 ¥23,750,000）を、平成29年10月31日に売却したが、売却代金 ¥61,800,000（税込）を仮受金としていたので適正に処理する。なお、売却代金のうち敷地部分に対応する金額は ¥37,500,000であり、これについて消費税の8%は課せられていない。建物及びその敷地は平成29年9月30日まで使用されていたが、翌日に使用を停止している。また、使用停止日から売却日までの減価償却については、計算しないものとする。ただし、この建物は、平成17年4月1日に取得し、取得原価は ¥37,500,000であり、期首の減価償却累計額は ¥16,200,000であった。

2 (10点)

広島商店では3伝票制を採用し起票している。よって、6月6日の略式の伝票を集計したさいの仕訳集計表を作成しなさい。ただし、下記の取引について、必要な伝票に記入したうえで計算すること。なお、1枚の伝票には、貸借それぞれ1科目だけ記入することになっている。

取引

6月6日 岡山郵便局から、次の切手および収入印紙を買い入れ、代金は現金で支払った。

62円切手 30枚 82円切手 50枚 200円収入印紙 100枚

〃日 さきに、山口商店に対する商品代金の支払いのために振り出した約束手形¥299,300について、支払期日の延期を申し出て、同店の承諾を得た。よって、新しい手形を振り出して旧手形と交換した。

入金伝票		出金伝票	
受取手数料	111,520	買掛金	100,000
売上	140,400	買掛金	120,000
売掛金	60,000	仕入	86,400
当座預金	154,000	消耗品費	2,160
資本金	200,000	仕入	34,560
売上	36,720	支払利息	820
売掛金	50,000	() ()	
() ()		() ()	
() ()			

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
受取手形	475,200	売上	475,200
当座預金	70,000	前受金	70,000
仕入	151,200	支払手形	151,200
通信費	4,500	当座預金	4,500
買掛金	190,000	支払手形	190,000
仕入	226,800	当座預金	226,800
前受金	162,000	売上	162,000
当座預金	346,680	売上	346,680
仕入	54,000	買掛金	54,000
当座預金	120,000	売掛金	120,000
消耗品費	16,740	当座預金	16,740
受取手形	200,260	売掛金	200,260
売掛金	567,000	売上	567,000
仕入	459,000	買掛金	459,000
当座預金	180,000	受取手形	180,000
買掛金	3,780	仕入	3,780
() ()		() ()	

3 (30点)

群馬商店（個人企業）の次の取引を普通仕訳帳と特殊仕訳帳としての当座預金出納帳・売上帳・仕入帳に記入し、総勘定元帳と売掛金元帳・買掛金元帳に転記しなさい。また、A品の商品有高帳に記入しなさい。

ただし、i　すでに記入してある取引も転記すること。

ii　当座預金出納帳の摘要欄には、転記に必要な商店名のみ記入すればよい。

iii　総勘定元帳への転記は、特殊仕訳帳から直接おこなうこと。

iv　総勘定元帳および売掛金元帳・買掛金元帳への転記は、日付と金額を示せばよい。

v　商品有高帳の払出単価の計算方法は、移動平均法によること。

vi　普通仕訳帳の摘要欄に勘定科目を記入する場合には、（　　）を付けること。また、小書きは省略する。

vii　当座預金出納帳・売上帳・仕入帳および商品有高帳は、月末に締め切るものとする。

取　　引

1月 8日　従業員から預かっていた所得税 ¥45,100を小切手を振り出して納付した。

9日　山形商店から売掛金 ¥150,000の回収として、同店振り出しの約束手形を受け取った。

10日　山形商店へ次の商品を売り渡し、代金のうち ¥100,000は小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れ、残額は掛けとした。なお、売上金額の1%を発送費（当方負担）として、現金で支払った。

A　品　　300個　　@¥ 1,200　　¥360,000

11日　山形商店に売り渡した商品の一部に汚損があったので、次のとおり値引きを行った。なお、この代金は売掛金から差し引くことにした。

A　品　　100個　　@¥ 260　　¥ 26,000

12日　福島商店から次の商品を仕入れ、代金は小切手 ¥25を振り出して支払った。なお、引取運賃 ¥8,400を現金で支払った。

A　品　　600個　　@¥ 840　　¥504,000

16日　山形商店に対する売掛金 ¥600,000を同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。

20日　福島商店に対する買掛金 ¥250,000を小切手を振り出して支払った。

25日　本月分の給料から所得税額 ¥46,200を差し引き、従業員の手取額 ¥467,400を小切手を振り出して支払った。（当座預金出納帳だけで処理する）

4 (30点)

青森商事株式会社の第20期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の次の資料によって、損益計算書と貸借対照表を完成しなさい。

ただし、損益計算書・貸借対照表に記入するさいには、千円単位で記入すること。

資 料

I 総勘定元帳勘定残高

現 金	¥ 381,000	当 座 預 金	¥	受 取 手 形	¥ 2,100,000
売 掛 金	1,680,000	貸 倒 引 当 金	23,000	有 価 証 券	3,778,000
繰 越 商 品		仮 払 法 人 税 等	250,000	建 物	
建物減価償却累計額	1,060,000	備 品		備品減価償却累計額	1,140,000
土 地	6,700,000	商 標 権	245,000	支 払 手 形	1,392,000
買 掛 金	1,120,000	借 入 金	1,800,000	退職給付引当金	1,640,000
資 本 金	11,600,000	資 本 準 備 金	1,150,000	利 益 準 備 金	840,000
別 途 積 立 金	500,000	繰越利益剰余金	324,000	売 上	37,875,000
受 取 配 当 金	30,000	有 価 証 券 利 息	12,000	仕 入 割 引	65,000
仕 入	27,841,000	給 料	5,472,000	支 払 家 賃	858,000
保 険 料	723,000	消 耗 品 費	104,000	通 信 費	135,000
租 税 公 課	70,000	雑 費	89,000	支 払 利 息	30,000
売 上 割 引	64,000				

II 付記事項

a. 現金の実際有高を調査したところ、次のとおりであった。

- (1) 通貨 ¥263,000
- (2) 他人振り出しの小切手 ¥110,000
- (3) 配当金領収書 ¥30,000が未処理である。
- (4) 支払期日の到来したC社社債の利札 ¥12,000が未処理である。

b. 銀行残高証明書の金額は¥2,903,000であったので、不一致の原因を調べたところ、次のことが判明した。

- (1) 仕入先に買掛金支払いのため振り出した小切手 ¥80,000が支払呈示されていなかった。
- (2) 修繕費支払いのために小切手 ¥75,000を作成し、記帳していたが、未渡しであった。
- (3) 売掛金 ¥105,000の入金があり、記帳していたが、誤って貸借反対に記帳していた。

c. 得意先甲商店が倒産したため、前期発生 of 売掛金 ¥40,000と当期発生 of 売掛金 ¥30,000が回収不能となった。

Ⅲ 決算整理事項

a. 期末商品棚卸高

帳簿棚卸数量 650個 原 価 @¥2,100
 実地棚卸数量 640個 正味売却価額 @¥

(売価@¥2,080 見積販売直接経費@¥30)

なお、実地棚卸数量640個のうち、災害により品質低下が著しい商品（見積処分価額は@¥350）が60個あり、特別損失として処理し、それ以外の棚卸減耗費（棚卸減耗損）と商品評価損は売上原価に算入する。

b. 貸 倒 見 積 高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、貸倒実績率1%として、貸倒れを見積もる。

c. 有価証券評価高 有価証券¥3,778,000は次のとおりである。

	取得原価	帳簿価額	時 価	備 考
A 社 株 式	¥ 850,000	¥ ()	¥ 902,000	売買目的で保有している
B 社 株 式	¥ 575,000	¥ 582,000	¥ 557,000	売買目的で保有している
C 社 社 債	¥ ()	¥ ()	¥ 778,000	満期保有目的の債券である
D 社 株 式	¥ 900,000	¥ 900,000	¥ 918,000	子会社株式である
E 社 株 式	¥ 684,000	¥ 684,000	¥ 702,000	上記以外の目的で保有している

C社社債（額面総額¥800,000 利率年3% 期間5年 利払日は9月末と3月末の年2回）は平成27年4月1日に発行と同時に額面¥100につき¥95で取得したものであり、償却原価法（定額法）により評価する。

d. 減 価 償 却 高 次の条件でおこなうこと。なお、減価償却費の計算は月割によっている。

	取得原価	取得日	減価償却	償却率	残存価額	耐用年数
建 物 A	¥ ()	平成15年 8月1日	定額法	—	取得原価の10%	40年
建 物 B	¥ 1,800,000	平成21年11月1日	定額法	—	零(0)	30年
備 品	¥ ()	平成26年 7月1日	定率法	20%	—	10年

e. 利 息 未 払 高 借入金の内訳は次のとおりであり、利息は利払日に経過した6か月分を支払っている。よって、利息の未払高を計上する。

金 額	借入日	借入期間	利率	利払日
¥ 1,000,000	平成25年 8月1日	5年	年1.8%	1月末・ 7月末
¥ 800,000	平成29年11月1日	2年	年1.5%	4月末・10月末

f. 保険料前払高 保険料は、毎年12月1日に向こう1年分を一括して支払っている。ただし、平成29年12月1日の支払額は前年の支払額より6%の割引きを受けている。

g. 商 標 権 商標権は平成19年11月1日に取得したものであり、権利取得時から10年間にわたって、定額法によって償却している。

h. 退職給付引当金繰入額 ¥380,000

i. 法人税・住民税及び事業税額 ¥560,000

第34回（平成30年度） 第 1 部〔答案用紙〕

1	
得点	

番号		氏名	
----	--	----	--

2	
得点	

3	
得点	

4	
得点	

1部	
総得点	

1 審	
-----	--

2 審	
-----	--

3 審	
-----	--

	借方	貸方
(1)		
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		

	借 方	貸 方
(8)		
(9)		
(10)		

2

仕 訳 集 計 表

平成30年6月6日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		支 払 手 形		
		買 掛 金		
		前 受 金		
		資 本 金		
		売 上		
		受 取 手 数 料		
		仕 入		
		通 信 費		
		租 税 公 課		
		消 耗 品 費		
		支 払 利 息		

番号		氏名	
----	--	----	--

1	
得点	

2	
得点	

3

当座預金出納帳

1

[illegible]

帳 上 売

1

[illegible]

仕 入 帳

1

[illegible]

損 益 計 算 書

青森商事株式会社

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：千円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	()	売 上 高	37,875
給 料	()	受 取 配 当 金	()
貸 倒 引 当 金 繰 入	()	有 価 証 券 利 息	()
減 価 償 却 費	()	()	()
支 払 家 賃	()	仕 入 割 引	()
保 険 料	()		
消 耗 品 費	()		
通 信 費	()		
退 職 給 付 費 用	()		
租 税 公 課	()		
貸 倒 損 失	()		
()	()		
雑 費	()		
支 払 利 息	()		
売 上 割 引	()		
雑 損	()		
()	()		
法 人 税 等	()		
()	()		
	()		()

貸 借 対 照 表
平成30年3月31日

青森商事株式会社 (単位：千円)

資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額
現 金	()	支 払 手 形	1,392
当 座 預 金	()	買 掛 金	()
受 取 手 形 ()	()	短 期 借 入 金	()
貸 倒 引 当 金 ()	()	未 払 金	()
売 掛 金 ()	()	未 払 費 用	()
貸 倒 引 当 金 ()	()	未 払 法 人 税 等	()
有 価 証 券	()	長 期 借 入 金	()
商 品	()	退 職 給 付 引 当 金	()
前 払 費 用	()	資 本 金	()
建 物 ()	()	資 本 準 備 金	()
減価償却累計額 ()	()	利 益 準 備 金	()
備 品 ()	()	別 途 積 立 金	()
減価償却累計額 ()	()	繰 越 利 益 剰 余 金	()
()	()	その他有価証券評価差額金	()
投 資 有 価 証 券	()		
関 係 会 社 株 式	()		
	()		()

4

得点

第34回（平成30年度） 第 1 部〔審査基準〕

1	3 点×10=30点
----------	------------

2	2 点× 5 =10点
----------	-------------

3	3 点×10=30点
----------	------------

4	3 点×10=30点
----------	------------

1部 合計	100点
----------	------

	借 方	貸 方
(1)	通 信 費 1,860 交 通 費 36,000 消 耗 品 費 14,000 雑 損 1,500	現 金 過 不 足 43,360 受 取 手 数 料 10,000
(2)	受 取 手 形 1,400,000 売 掛 金 5,200,000 土 地 14,500,000 の れ ん 550,000	支 払 手 形 3,000,000 買 掛 金 4,340,000 借 入 金 3,960,000 当 座 預 金 10,350,000
(3)	南 国 支 店 1,200,000	仕 入 500,000 土 佐 支 店 700,000
(4)	当 座 預 金 16,959,360 有 価 証 券 売 却 損 17,520	売 買 目 的 有 価 証 券 16,871,760 有 価 証 券 利 息 105,120
(5)	前 受 金 162,000 現 金 30,000	売 上 192,000
(6)	当 座 預 金 4,500,000 そ の 他 資 本 剰 余 金 10,500,000	自 己 株 式 15,000,000
(7)	債 務 保 証 損 失 引 当 金 繰 入 750,000 保 証 債 務 1,200,000	債 務 保 証 損 失 引 当 金 750,000 保 証 債 務 見 返 1,200,000

	借 方	貸 方
(8)	社 債 14,050,000	当 座 預 金 14,050,000
(9)	関 係 会 社 株 式 2,977,200 関係会社株式評価損 571,200	投 資 有 価 証 券 3,548,400
(10)	建物減価償却累計額 16,200,000 減 価 償 却 費 675,000 仮 受 金 61,800,000	建 物 37,500,000 土 地 23,750,000 仮 受 消 費 税 1,800,000 固 定 資 産 売 却 益 15,625,000

2

仕 訳 集 計 表

平成30年6月6日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
752,640		現 金		369,900
716,680		当 座 預 金		402,040
675,460		受 取 手 形		180,000
567,000		売 掛 金		430,260
299,300		支 払 手 形		640,500
413,780		買 掛 金		513,000
162,000		前 受 金		70,000
		資 本 金		200,000
		売 上		1,728,000
		受 取 手 数 料		111,520
1,011,960		仕 入		3,780
10,460		通 信 費		
20,000		租 税 公 課		
18,900		消 耗 品 費		
820		支 払 利 息		
4,649,000				4,649,000

1	3 点 × 10 = 30 点	2	2 点 × 5 = 10 点
---	-----------------	---	----------------

当 座 預 金 出 納 帳

1

平 30	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	売 掛 金	諸 口	平 30	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	買 掛 金	諸 口
1	10	売 上		✓		100,000	1	8	所得税預り金		10		45,100
	16	売 掛 金	山形商店	売2	600,000			12	仕 入		✓		504,000
	25	所得税預り金		10		46,200		20	買 掛 金	福島商店	買1	250,000	
								25	給 料		14		513,600
					600,000	146,200						250,000	1,062,700
	31		売 掛 金	4		600,000		31		買 掛 金	8		250,000
	〃		当座預金	2		746,200		〃		当座預金	2		1,312,700
			前月繰越	✓		1,413,780				次月繰越	✓		847,280
						2,159,980							2,159,980

売 上 帳

1

平 30	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	売 掛 金	諸 口
1	10	当 座 預 金	山形商店 小切手	✓		100,000
		売 掛 金	掛 け	売2	260,000	
			A品 300個 @¥1,200			
	11	売 掛 金	山形商店 掛け値引き	売2	26,000	
			A品 100個 @¥260			
					260,000	100,000
	31		売 掛 金	4		260,000
	〃		総 売 上 高	12		360,000
	〃		売 上 値 引 高	12/4		26,000
			純 売 上 高			334,000

仕 入 帳

1

平 30	成 年	勘定科目	摘 要	元 丁	買 掛 金	諸 口
1	3	買 掛 金	福島商店 掛 け	買1	572,000	
			A品 400個 @¥800			
			B品 600〃 〃 〃 420			
	4	買 掛 金	福島商店 掛け返品	買1	42,000	
			B品 100個 @¥420			
	12	当 座 預 金	福島商店 小切手	✓		504,000
			A品 600個 @¥840			
		現 金	上記引取費現金払い	1		8,400
					572,000	512,400
	31		買 掛 金	8		572,000
	〃		総 仕 入 高	13		1,084,400
	〃		仕 入 返 品 高	8/13		42,000
			純 仕 入 高			1,042,400

※純仕入高の1,042,400は、上部に単線、下部に複線がなければならない。

普 通 仕 訳 帳

1

平成 30年	摘要	元 丁	借 方	貸 方
1/1	前期繰越高	✓	5,872,620	5,872,620
9	(受取手形)	3	150,000	
	(売掛金)	4/売2		150,000
10	(発送費)	15	3,600	
	(現金)	1		3,600

(移動平均法) 商品有高帳 品名 A 品 単位：個

平成 30年	摘要	受 入			払 出			残 高		
		数量	単価	金額	数量	単価	金額	数量	単価	金額
1/1	前月繰越	100	790	79,000				100	790	79,000
3	福島商店	400	800	320,000				500	798	399,000
10	山形商店				300	798	239,400	200	798	159,600
12	福島商店	600	854	512,400				800	840	672,000
31	次月繰越				800	840	672,000			
		1,100		911,400	1,100		911,400			

総勘定元帳

現 金 1				当 座 預 金 2			
1/1 前期繰越	234,710	1/10	3,600	1/1 前期繰越	1,413,780	1/31	1,312,700
		12	8,400	31	746,200		
受 取 手 形 3				売 掛 金 4			
1/1 前期繰越	960,500			1/1 前期繰越	920,350	1/9	150,000
9	150,000			31	260,000	31	600,000
						〃	26,000
買 掛 金 8				所 得 税 預 り 金 10			
1/31	250,000	1/1 前期繰越	821,000	1/8	45,100	1/1 前期繰越	45,100
〃	42,000	31	572,000			25	46,200
売 上 12				仕 入 13			
1/31	26,000	1/31	360,000	1/31	1,084,400	1/31	42,000
給 料 14				発 送 費 15			
1/25	513,600			1/10	3,600		

売掛金元帳

山 形 商 店 2			
1/1 前月繰越	720,000	1/9	150,000
10	260,000	11	26,000
		16	600,000

買掛金元帳

福 島 商 店 1			
1/4	42,000	1/1 前月繰越	492,600
20	250,000	3	572,000

3 3点×10=30点

損 益 計 算 書

青森商事株式会社

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：千円)

費 用	金 額	収 益	金 額
売 上 原 価	(27,739)	売 上 高	37,875
給 料	(5,472)	受 取 配 当 金	(60)
貸 倒 引 当 金 繰 入	(35)	有 価 証 券 利 息	(32)
減 価 償 却 費	(377)	(有 価 証 券 評 価 益)	(41)
支 払 家 賃	(858)	仕 入 割 引	(65)
保 険 料	(441)		
消 耗 品 費	(104)		
通 信 費	(135)		
退 職 給 付 費 用	(380)		
租 税 公 課	(70)		
貸 倒 損 失	(47)		
(商 標 権 償 却)	(245)		
雑 費	(89)		
支 払 利 息	(38)		
売 上 割 引	(64)		
雑 損	(8)		
(商 品 評 価 損)	(105)		
法 人 税 等	(560)		
(当 期 純 利 益)	(1,306)		
	(38,073)		(38,073)

貸 借 対 照 表

青森商事株式会社 平成30年3月31日 (単位：千円)

資 産	金 額	負 債 及 び 純 資 産	金 額
現 金	(415)	支 払 手 形	1,392
当 座 預 金	(2,823)	買 掛 金	(1,120)
受 取 手 形 (2,100)		短 期 借 入 金	(1,000)
貸 倒 引 当 金 (21)	(2,079)	未 払 金	(75)
売 掛 金 (1,400)		未 払 費 用	(8)
貸 倒 引 当 金 (14)	(1,386)	未 払 法 人 税 等	(310)
有 価 証 券	(1,459)	長 期 借 入 金	(800)
商 品	(1,210)	退 職 給 付 引 当 金	(2,020)
前 払 費 用	(282)	資 本 金	(11,600)
建 物 (3,800)		資 本 準 備 金	(1,150)
減価償却累計額 (1,165)	(2,635)	利 益 準 備 金	(840)
備 品 (2,500)		別 途 積 立 金	(500)
減価償却累計額 (1,412)	(1,088)	繰 越 利 益 剰 余 金	(1,630)
(土 地)	(6,700)	その他有価証券評価差額金	(18)
投 資 有 価 証 券	(1,486)		
関 係 会 社 株 式	(900)		
	(22,463)		(22,463)